

行歯会だより -第60号-

(行歯会＝全国行政歯科技術職連絡会) 2010年11月号

report

新たなる成人歯科健診のあり方をめざして

日本歯科医師会

「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアルブロック別研修会
(三重会場)」に参加して

三重県伊勢保健福祉事務所 石濱信之

平成22年9月26日(日)三重県歯科医師会館で開催された「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアルブロック別研修会」(以下:研修会)に参加いたしましたので、その概要について報告いたします。

この研修会は全国をブロックに分け7会場で順次開催されていくもので、三重会場はその第一回目でした。午前の部:講演1・2、午後の部:実習1・2の構成で、東海北陸ブロックに奈良県、大阪府を加え約130名が参加しました。日本歯科医師会池主憲夫常務理事からの、予想を上回る参加者に感激している。疾病発見型から生活・人生志向型の歯科健診をめざしてほしいという開会挨拶に続き、午前の部講演1では「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル」について、日本歯科医師会地域保健委員会深井穂博委員長より講演がありました。

1)全国的に歯周疾患検診は参加率・受診率が低い。

2)有病率が高いにもかかわらず検診は疾病を発見し受診を勧奨するという内容になりがちである。

3)過去1年間に何らかの理由で歯科を訪れた人は50%を超えている。

4)歯や口の健康は全身の健康と関連があるという根拠が増えてきている。

5)メンテナンスという効果的な予防方法が存在している。

等々の状況を考慮し、これからの成人歯科健診として、1回の健診で終わってしまうのではなく、地域の歯科診療所を受け皿としてかかりつけ歯科医がフォローアップしていくように連携していくモデルの提示がありました。

そこには口腔内のみを診るのではなく、

自覚症状、生活習慣、周りの環境、生活背景をも把握する成人歯科健診と、それらに基づきこれからどうしていくべきかを受診者自身が決定し、取り組んでいくための場となる保健指導の提示がありました。

午前の部講演2として「保健指導を行う際に必要な基礎医学に関する知識の習得について」と題し、四日市糖尿病クリニック水林竜一院長より糖尿病の病態、合併症、治療法について講演がありました。ブロック別研修会では

- ◎保健指導を行う際に必要な基礎医学
- ◎食育も含めた栄養学的知識
- ◎受診者に持続的行動変容をもたらすコミュニケーション技術
- ◎特定健診と新しい成人歯科健診との連携

のいずれか一つを講演として加えることとなっているそうです。

午後の部実習1は、「歯科保健指導時に留意すべき事項に関する概説」として、日本歯科医師会地域保健委員会佐藤徹幹事より標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導の必要性について以下のことが述べられました。

1) 国民医療費に対する歯科医療費の割合は年々低下している

2) 推計総患者数の増減はないが診療所数の増加により1診療所あたり患者数は減少している。

3) 将来推計人口は75歳以上の増加が予想されているが、歯科受療率は75歳以上ではそれまで増加していたものが大きく減少している。

4) 歯科健診は歯の健康を守る意識づけを行って、歯科専門職の関わり的重要性を納得してもらい、将来にわたる定期管理と

いう保健行動の定着を図るものとしていくべきである。

5) 定期管理の場では口を通して全身の健康を診るという意識を持つことが求められる。それがかかりつけ歯科医としての役割である。

午後の部実習2、「保健指導の実習」では、新潟県歯科保健協会山田智子歯科衛生士より、気づきから行動目標の自己決定にいたるまでのプロセスで重要なポイントとなるコミュニケーション形成についての演習が行われました。当初は数名によるグループワークにより進行する予定でしたが、受講申込者が予想を上回る人数であったため、二人組のペアによる演習プログラムとなりました。

相手との壁を取り除き、質問紙を始めとする健診時に使用する媒体を利用し最終的に自ら決め、自ら動こうとする前向きな感覚と保健指導に対する満足感を持っていただくまでの行程を体験しました。多くの受講者にとって今まであまり経験したことがないのではと思われましたが、参加者はとても積極的で、昼食後の午後という研修会としては苦しい時間帯でありながら会場全体がとても盛り上がっていました。

従来までの「口を診る検診」から「口を通して住民の暮らしを支える健診」へとコンセプトを転換し、その有効なツールとしての標準的な成人歯科健診プログラムの紹介に加え、担い手となる歯科医師、歯科衛生士、関係職種が備えておくべきスキルについても演習する機会となりました。今回の三重会場では、午後の部演習2での盛り上がり、そして研修全体終了後もそこかしこで話を続けている参加者の様子が見

受けられました。また、前日の25日には研修進行担当者による打合せも綿密に行われています。これらのことから研修参加者に何かを掴んで持って帰っていただける研修になったと思われました。

この研修は年明け1月まで続くもので

あり、それぞれの研修終了後にプロジェクト評価を行い、少しずつ進化していく研修となっています。

今後開催予定の地域においては積極的参加をお願いし、報告を終わります。

編集担当から

本研修の今後の開催予定は次のとおりです。

詳細は <http://www.jda.or.jp/info/index.html> でご確認ください。

平成22年12月12日(日) 高知市

平成23年 1月16日(日) 山口市

平成23年 1月23日(日) さいたま市

平成23年 1月30日(日) 長崎市



◆地域のゆるキャラ紹介(名古屋編)◆

今年は「名古屋開府400年」にあたり、これを祝って様々なイベントが開催されています。あの有名な市長も「かぶり物」に「名古屋弁」でイベントを大いに盛り上げました。併せて、こんなキャラクターも登場しています。



ねがいボシの【かなえっち】

400年の旅人の【はち丸】



やっとかめの【だなも】



なごやジョウの【エビザベス】

◆◆私の仕事紹介します◆◆

今年の8月ごろ行歯会メーリングリストで「医療法に基づく歯科診療所の立ち入り検査」を歯科衛生士業務として実施しているという話がありました。そこで、実際に検査業務を行っている仙台市の状況を紹介していただきました。

保健福祉センター管理課業務紹介

～診療所立入検査業務～

仙台市青葉区保健福祉センター 菅 かおり

行歯科会のみな様、こんにちは。仙台市青葉区保健福祉センター管理課の菅です。日頃の業務について紹介させていただきます。よろしくお願いたします。

私が所属している保健福祉センター管理課の主な業務は地域保健活動の総括、感染症対策、医務、保健統計等があります。私は主に医務を担当し、病院や診療所などの医療関係施設の開設等に伴う事務や医療監視員として立入検査業務を行っています。立入検査の業務では、病院立入検査に従事する所内メンバーの調整や検査説明会の開催、病院への検査結果の送付、検査当日のスケジュール調整なども担当しています。

今年度は24病院、126診療所、1助産所の計151施設を5月から2月にかけて行う予定です。青葉区は仙台市5区の中でも人口・面積とも最も大きく医療機関数も多いので、雨の日も風の日も、そして雪の日も！厚く重い資料フォルダーを鞆に詰込み、検査に出かける日々を過ごしています。

歯科診療所への立入検査は、医科診療所と同様に検査票の項目に沿って書類や衛生面、部屋用途などを確認します。書類関係では平成19年から歯科診療所でも医療安全指針の作成が義務付けられているので、管理者の先生には各指針の整備や運用をお願いしているところですが…。「医療安全？指針？って何？」のリアクションもチラホラ…。時には「スタッフには毎日、口を酸っぱくして伝えているから医療安全は大丈夫！書類を作ったからってどうなるのっ！」と言われてしまうことも…。変な汗をかきつつ、必死に説明し作成をお願いすることもあります。

いままで実施してきたなかで、周囲の協力があつたことはもちろんですが、歯科衛生士だからとハンデを感じたことはありません。むしろ、立入検査は緊迫(!?)した現場も多く、「保健所の職員に現場の何が分かるオーラ」をまとっている先生もなかにはいらっしゃるようですので、歯科衛生士であることが分かると緊張した雰囲気や和み、診療方針についてなど気さくにお話をうかがい

ながら検査を進めることができます。また、時には歯科衛生士であることを武器にしながら、それぞれの現場にあった問題の解決方法を一緒に考え、情報を提供することで先生方に有意義な検査だと思っていただけるように努めています。

特に立入検査は、慣れ親しんだ歯科保健の業務とは異なり苦労はありますが、診療所の安全体制の整備や各法律の遵守は市民の医療安全のために欠かせないことであり、法律や考え方など検査を通じ身につけたことは、専門職としての幅が広がり、今後に生かせるものだと感じています。

今年の夏は、仙台でも寝苦しい夜が続きました。天高く馬も人も肥ゆる秋、芋煮会で広瀬川はにぎわっています。美味しい食べ物がたくさんありますので、みなさん、是非仙台にお越しください。むすび丸や戦国武将隊がお出迎えいたしますよ。

日頃からMLを通じ貴重な情報をいただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。



小黑滝（岩手県）

紅葉前線も日本列島を南下し、25日現在、千葉県と高知県を残すのみとなっています。（千葉と高知は暖かいのですね）12月に入ると各地で初雪のニュースが聞かれることでしょう。来月号は各地の今年のニュースをお伝えしたいと思います。今年度スタートした新規事業、今年度行歯会に入会された、ニューフェイスを紹介します。自薦他薦を問いませんので皆様の投稿をお待ちいたしております。①